

# 図書館だより 第31号

## 鹿児島国際大学附属図書館報

The International University of Kagoshima Library

### — 目 次 — contents

- Book of Life ～私と図書館～ ..... 2～3p  
「図書館を利用し始めた頃」 成田 孝  
「[知性の源泉]としての大学図書館」 松尾 弘徳
- あなたのお悩み解決し隊!! (第7回 :OPACでの検索) ..... 4～5p
- アメリカの図書館事情 ..... 井川 信広 ..... 6p
- サポーター活動中!! ..... 7p
- Library Report ..... 7～8p



## わたしと図書館 ~Book of Life~

### 図書館を利用し始めた頃

福祉社会学部 成田 孝

私が大学生のとき、大学で美術解剖を学んでいる先輩から、授業記録が送られてきた。授業に圧倒され、私に教えずにいられなかったのである。興奮が、ひしひしと伝わってきた。東京芸術大学の三木成夫教授による「生物学」の授業である。授業記録を見て、私も惹きつけられてしまった。神田の書泉（注）で三木成夫の著作を見つけ、一気に読んだ。

大学卒業後、中公新書として出版された『胎児の世界』は、読むたびに発見があった。今では、マーキングで真っ赤である。参考文献をすべて見たい衝動に駆られた。市販されているものは当然購入したが、購入できないものも少なからずあった。

その頃の図書館は、パソコンが導入されておらず、むしろOPACもCiNiiもNACSIS-CATもない。蔵書の検索は、蔵書目録かカード目録をめくるしかなかった。入手できない文献は、当時勤務していた国立大学の附属図書館に頻繁に通い、大半を入手することができた。

附属学校教員であった私は個人研究費がなかったので、複写代と送料はそのつど自費で払っていた。図書館の職員が心配するほど多かった時期もあった。職員の仕事とはいえ、度重なる依頼に快く対応していただいた。私は美大だったので図書館とはあまり縁がなかったが、図書館の有り難さを実感した。当時の論文に、図書館職員への謝辞を述べずにはいられなかった。

中学校美術教師を経て養護学校に勤務し、発達に遅れのある子どもたちの表現（写真）が、私の大きな関心事となった。書名に惹かれて、三木成夫の著作でも触れられているルートヴィヒ・クラークスの『表現学の基礎理論』の祥読会を、数名で始めた。

ところが、翻訳本なのに、さっぱり理解できなくて頭を抱えた。そこで、読解以前にクラークス思想を理解する必要があると考え、クラークス思想を肯定的に捉えている研究者の書かれたものはもちろん、批判的

なものを読むことにした。原著との比較読みも勧められた。

クラークスは二年前に主著の翻訳が刊行されたが、残念ながら、決してメジャーな思想家ではない。クラークス研究がなされたと思われる大学をリストアップし、出張などの折に、その大学の図書館で文献を探したこともあった。個人では直接借りられないので、後日、勤務していた大学の図書館にメモしたカード目録の請求番号を伝え、借りてもらったこともあった。

このように、図書館は文献の入手に欠かせない存在である。文献の著者との交流も、私の大きな財産である。ある人から、真に学べる人間が200人いれば一流だと言われたことがある。私は、一桁少ないが。

最後に、ペーパーレスのディスプレイによる情報は視覚によって理解するが、本を手でめくる行為は、体性感覚の重要性を授業で説いている私にとって、永遠に手放せない。



「人形」

注：神保町の大型小売書店名。



## 「知性の源泉」としての大学図書館

国際文化学部 松尾 弘徳

この大学へ着任して1年半ほど経ち、講義やゼミで学生と接する中で大学の様子もずいぶん見えてきましたが、気がかりなことが一つ。それは、たまに出かける図書館で見かける学生の少なさです。先日、国際大学の図書館で本を借りたことがあるかどうかを2年生のゼミ生5人に尋ねたところ、そのうち3人が本を借りたことがないと答えたのには驚きました(もちろん、その後きびしく叱責したことは言うまでもありません)。

書物は人生を豊かにしてくれるとても素敵なツールです。本は年をとって体が動けなくなっても読むことができます。学生の皆さんは若くて体も動きますから、年をとってから本を読めばいいと考えるかもしれませんが、そうではありません。読書をするという習慣が若いうちに身につけていない人は、齢を重ねたときになかなか本を読もうという気にならないものです。

あまり本を読まないという人は、図書館にある本棚をざっと眺めて、まずは興味の持てそうなタイトルの本を一冊でよいので手にとって下さい。読書は好きなほうだという人は、自分がこれまで興味を持っていなかったような本(哲学や言語学、あるいは科学に関する書物など)に挑戦してみてください。きっといままで思っても見なかったような出会いが待っていることでしょう。

一方、私がふだん接する学生の中には、キラリと光る知性が垣間見える学生もいます。聞いてみると、そのような学生の多くは本をよく読んでいます。大学の図書館は、「知性の源泉」として学生の知性を育む役割を担っているわけです。ちょっとした空き時間や放課後の時間を利用して図書館に立ち寄ってほしい、それが研究者の立場ではなく、一人の大人としての私からの意見です。

私がこれまでに接してきた書物は、血となり肉となりいまの私の中に息づいています。たとえば当時出版されていた巻のほぼすべてを読破した『ズッコケ三人組』シリーズ(小学生時代)、たとえば年度別の成績に食い入るように目を通して往年の名選手の勇姿に思いをはせた『プロ野球選手名鑑』(中学生時代。あえて数十年も

前のものを購入しそれを眺めるのが大好きでした)、たとえば今もたまに読み返す清水義範氏や寺山修司氏の著作(高校、大



学生時代)。そして、お薦めの一冊はと聞かれれば必ず挙げることにしている吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』(大学院生時代)。

いま私が研究者としてここにいられるのは、上に挙げたような書物との出会いが大きな要因であると感じています。大学生活の4年間で、皆さんがたくさん書物と素敵な出会いをして下さることを切に願っています。

最後にひと言。この大学には、学生による「図書館サポーター」という制度もあります(サポーターの詳細い内容については図書館でお尋ね下さい)。これは他大学には見られない組織です。昨年度まで図書館サポーターをしていた学生(人間文化学科卒業生・Tさん)が、今年度の県の図書館司書試験に合格したという嬉しい報告も届いています。読書が好きで、将来は図書館司書や書店員など本に携わる職業に就きたいと考えている学生は、ぜひとも図書館まで話を聞きに行ってみることをおすすめします。

### ぶっくんの 図書館まめ知識



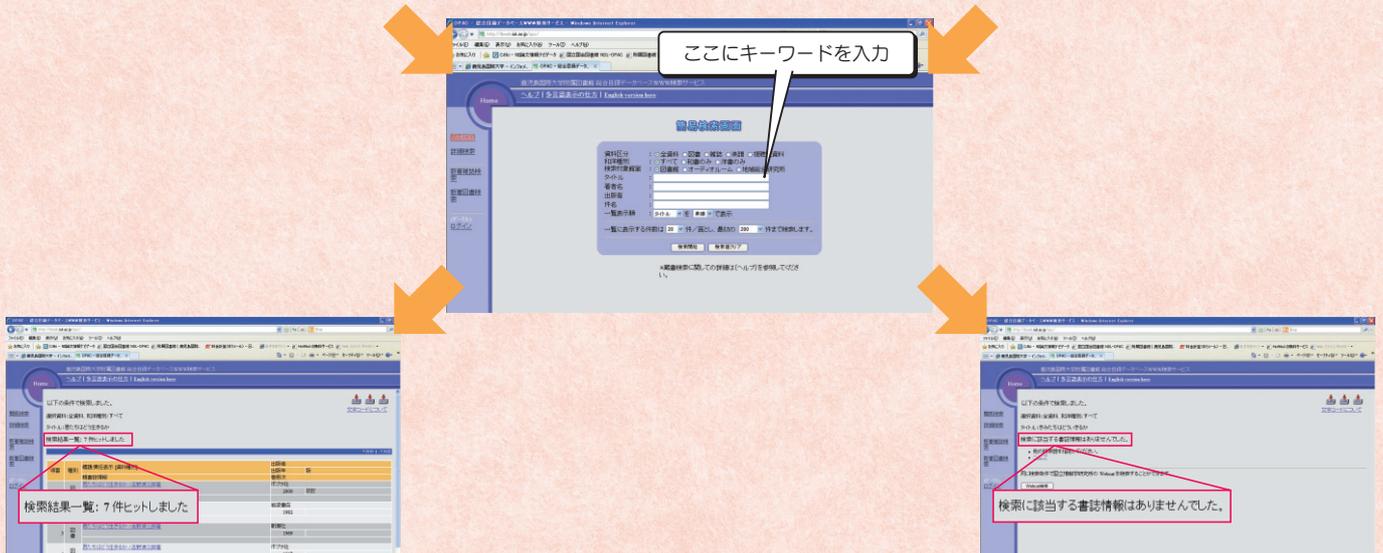
図書館に読みたい本がない! そんなときは、リクエストができます。カウンターにある「学生図書申込書」を記入してもらえれば、図書館で購入します。



例:『君たちはどう生きるか』  
(吉野源三郎著:岩波書店)を探す

A: タイトルに「君たちはどう生きるか」と入力  
(漢字とかなでタイトル通りに入力)

B: タイトルに「きみたちはどういきるか」と入力  
(タイトルをすべてひらがなで入力)



★タイトル通りに入力すると、7件ヒットしましたが、ひらがな入力ではヒットしませんでした。これはなぜでしょうか？  
単語で区切ると、以下の4つに分かれます。

君 ち だ は どう 生 じ る か  
① ② ③ ④

②にある「は」の部分に注意します。かなで検索する場合、「は」、「を」、「へ」などをそのまま入力しても、検索できません。  
**「は → わ」、「を → お」、「へ → え」に変えて入力します。**例の場合、入力するキーワードは「きみたちわ どういきるか」になります。



\* 検索に慣れた図書館職員でも、なかなかうまくいかないことがあります。  
OPACで検索をする際は、一度の検索であきらめずに、何度かチャレンジしてみてください。

ぶっくんの  
図書館まめ知識



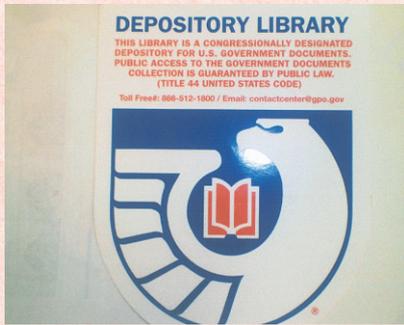
OPACシステムは自宅や携帯からも利用できます。時間のあるときに、検索にチャレンジしてください。使えると便利です。



## アメリカの図書館事情

福祉社会学部 井川 信広

図書館は「民主主義の砦」と言われます。民主主義の基本は、国民の知る権利の保障です。国民の代表機関である政府の情報を知ることが、民主主義の根底です。図書館は、様々な情報を配信するところです。アメリカには「連邦政府刊行物保管図書館 (= Federal Depository Library)」という図書館があります。この図書館は、全米に約 1250 館 (2009 年現在) 存在



政府刊行物保管図書館マーク

します。すなわち、各州に約 25 館存在しているということです。主要な大学図書館と大規模公共図書館が、この図書館を兼務しています。アメリカの人々は、これらの図書館を利用して、「政府が今何をしているのか、何をしてきたのか、何をしようとしているのか」をいつでも知ることが出来ます。この考えは、1787 年ペンシルバニア州フィラデルフィアで開催された連邦議会の席上、ペンシルバニア州代表ジェームズ・ウィルソンが、下院及び上院の議事録出版の論議で、“国民には自分たちの機関が、なにをしているのか、何をしたかを知る権利がある。機関の記録を隠すことは、立法府の取るべきことではない”と主張し、上院や下院の議事録を出版するよう要求したのが始まりと言われています。この政府情報は、合衆国政府印刷局から印刷物として、全米に配信されています。又、現在では、インターネットを利用して政府情報を知ること出来ます。ですから、各図書館には、政府情報担当の専門図書館員が配置されています。私も留学中に大学図書館の政府情報の部署を担当したことがあります。

日本の大学図書館や公共図書館には、あまり政府機関の情報が配布されてはいません。「電子政府の総合窓口」というインターネットでアクセスできるホームページもありますが、内容はまだまだアメリカには及びません。民主主義の図書館とは程遠い感じがします。又、専門職員も配置されておりません。知りたい時は、市

役所、県庁所在地や中央省庁のある東京へ足を運んで、閲覧申請をしなくてはなりません。また、閲覧できる情報も限られているようです。

図書館の「民主主義の砦」を確立するには、まずは、第一に図書館職員の専門性を付けていくことが大切であると思います。数年で他の部署へ配置換えをするようでは、専門性がつきにくいでしょう。

図書館は、書籍を読む、貸出・返却・学習をするだけの場所じゃありません。「民主主義」を守る重要な役目があるわけです。図書館は「利用者数が増加した」、「蔵書数が増加した」という基準で価値や位置づけをつけるものではないでしょう。(それらも図書館にとっては大切な要素ですが・・・) また、図書館は独立した存在です。欧米では、大学図書館は附属機関ではありませんし、独自の名称を有しています。公共図書館も独立が保障されています。日本の大学図書館は、多くは大学の付属機関です。図書館独自の名称を有しているのは、ごく少数です。日本の大学図書館や公共図書館が、欧米のそれらに近い存在になるのはいつのことでしょう。

また、アメリカの図書館職員は、とてもフランクです。気楽に、挨拶や応対をしてくれます。時には雑談にも付き合ってくれます。これは国民性でしょうか？それとも別の要素があるのでしょうか？今まで見た限り、国民性ばかりではないような気がします。アメリカの図書館職員は、サービス旺盛です。利用者も自分で検索するだけでなく、図書館職員に尋ねるほうが時間と手間が省かれ、即座に必要な情報や書籍が入手できるほうが良いと思っています。図書館の利用法を十分に認識しているのでしょうか。図書館を一層向上させるために、利用者と図書館職員の相互協力が必要でしょう。



アメリカ議会図書館

# サポーター活動中!!

## 活動報告

1. キャンパス見学会  
エプロンシアターの実演、司書・司書教諭の資格を紹介  
活動写真展実施
2. Keizにて選書ツアー実施
3. 「国際大学を知るコーナー」見出し作成
4. 図書館リーフレットVol.2企画“男子ごはん”に挑戦



## テーマ展示

	2階フロア	3階フロア
4月	日本の春(文学作品)	サポーター選書
5~6月	楽器、梅雨	家族
7~8月	ホラー特集	七夕(星・恋愛)
9月	動物特集	芸術特集
10月	アイメイト特集	
11月		独りの日(失恋など)
12月		いい夫婦の日
		クリスマス、2010年総決算

## サポーター活動記“男子ごはん”

先日、「男子ごはん」と題して「図書館の本を見て男子学生が料理に挑戦！」のコンセプトのもと、後輩の男子学生と二人で、肉じゃがとレンジで作る焼きうどんを作りました。レシピどおりに作ったおかげか、上々の出来上がり。試食した他のサポーターにも好評でした。皆さんも図書館でレシピ本を探してみてください！一人暮らしに役立つ素敵なレシピがまだまだ隠されているかも!?

国際文化学部4年 倉津

## サポーター活動記“キャンパス見学会”

7月25日のキャンパス見学会で、図書館サポーターの活動や司書・司書教諭について、高校生に紹介しました。

司書・司書教諭の説明部分では、パネルシアターやエプロンシアターの実演を行い、楽しんで理解してもらえるように工夫して紹介ができたと思います。

私はエプロンシアターを体験しました。初めての経験で、恥ずかしさを感じることもありましたが、練習の成果もあり、良くできたと思います。

先輩方とも一致団結して、楽しい見学会になりました。

福祉社会学部1年 大窪



## サポーター活動記“鹿国大を知ろう”

図書館2階のブラウジングコーナーに「鹿児島国際大学を知るコーナー」を作りました！これまで、学内で刊行されているものの、配布範囲が限られ、研究室や部局に留まっていた資料を集めて、紹介するコーナーです。

現在は、ゼミごとにまとめられた学生の卒業論文などがサポーター手作りのポップで紹介されています。

国際文化学部2年 野間



# Library Report



## 平成22年度出張一覧表

出張名(開催地)	日程	出張名(開催地)	日程
私立大学図書館協会西地区部会2010年度第1回九州地区協議会(福岡)	4/22	第71回(2010年度)私立大学図書館協会総会・研究会(福岡)	9/9~10
平成22年度第61回九州地区大学図書館協議会総会(福岡)	4/23	私立大学図書館協会2010年度西地区部会研究会(愛知)	10/21
平成22年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修委員会(鹿児島)	5/14	平成22年度 司書・司書補講習開講大学全国連絡協議会(愛知)	10/29
平成22年度第1回鹿児島県大学図書館協議会会報編集委員会(鹿児島)	5/14	平成22年度第1回鹿児島県大学図書館協議会研修会及び講演会(鹿児島)	11/5
第31回鹿児島県大学図書館協議会総会(鹿児島)	5/28	平成22年度鹿児島県図書館大会(鹿児島)	11/17
私立大学図書館協会2010年度西地区部会総会(福岡)	6/18	音楽図書館協議会2010年度秋の研修会(神奈川)	11/25
私立大学図書館協会西地区部会2010(平成22)年度九州地区研究会(鹿児島)	8/27	図書館ポータルサイト説明会(鹿児島)	12/22
平成22年度目録システム地域講習会(図書コース)(熊本)	9/8~10		

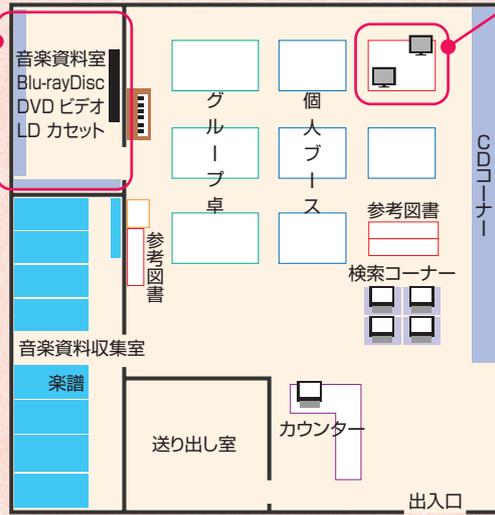
## オーディオルームリニューアル

2010年7月にオーディオルームが、一部リニューアルしました！  
オーディオルームとリニューアル部分についてご紹介します。

### Renewal Point 1



**50v型プラズマテレビ追加！**  
音楽資料室に50v型プラズマテレビが入りました。LDやビデオ、DVDが大画面で！さらにブルーレイディスクプレイヤーも追加されているので高画質な映像で視聴することができます。



### Renewal Point 2

個人ブースに液晶テレビが追加！



22v型の液晶テレビ、ブルーレイディスクプレイヤー、パソコンを設置し、ブルーレイディスクの視聴やインターネット、データベースの使用が可能になりました。

### オーディオルームスタッフより一言

新しいオーディオ機器が入り、視聴覚資料も増えました。大型テレビでの映像は大迫力ですので、是非一度観に来てください。

## ■オーディオルーム紹介 8号館2階

【資料】 楽譜 音楽図書 ミニスコア Blu-rayDisc DVD LD ビデオ CD カセット レコード



【音楽資料収納室】  
和楽譜・洋楽譜が約16,500冊収納されています。



【検索コーナー】  
OPACを使って図書館・オーディオルームに所蔵している資料を検索できます。



【CDコーナー】  
約6,000点のCDが収納されています。



【個人ブース・グループ卓】  
CDやレコードなどの視聴ができます。グループ卓は複数人数での視聴が可能です。

### 【利用時間】

○月曜日～金曜日…10:00～18:00 ○土曜日……………9:00～12:00

※長期休暇中は開室時間が変更になります。詳しくは図書館HPをご覧ください。



## 編集後記



図書館報「図書館だより」は、昨年度30号という節目を過ぎ、今年度から新たな気持ちで館報発行に臨みました。昨年度から発足した図書館業務に参加する学生の新組織「図書館サポーター」は2年目を迎え、斬新なアイデアを出し、精力的な活動を行い、図書館サービスの向上に貢献しています。また、図書館広報「図書館へいこう！」が昨年度発行5周年を迎え、さらに面白くて役立つ紙面づくりを目指し、編集スタッフ一同、奮闘しています。これからも「いやしの空間」「知の宝庫」としての役割を果たしつつ、利用者の皆さんが快適に過ごせる「滞在型図書館」を目指し、努力していきたいと考えています。

“図書館だより”を今後ともご愛顧いただきますよう、よろしくお願いいたします。(O・T)

図書館だより－鹿児島国際大学附属図書館報－ 第31号 2011年1月11日発行

鹿児島国際大学附属図書館 〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

TEL:099-263-0732 FAX:099-261-1198 E-mail:tosyokan@ofc.iuk.ac.jp

(URL) http://www.iuk.ac.jp/~tosyokan/ (携帯URL) http://lbweb.iuk.ac.jp/nbp/